

オンラインシンポジウム「関西を新たなデジタルヘルスビジネス拠点へ」の開催

令和3年11月18日

イノベーション推進担当

1 開催趣旨

デジタルヘルスの分野では、昨今、健康・医療用ソフトウェア(Health Software)への関心が国内外で高まっている。なかでもHealth Softwareのうち、従来の医療機器として登録が必要なSaMD(Software as a Medical Device)とは別に、医療機器としての登録が不要だが、品質の高い健康増進アプリであるnon-SaMD(non-Software as a Medical Device)に期待が高まっている。

こうしたことから、non-SaMDの振興を関西において新たに官民で強力に進めるための課題と対策に関するシンポジウムを開催する。

2 名称 オンラインシンポジウム「関西を新たなデジタルヘルスビジネス拠点へ」

3 主催 NPO法人関西健康・医療学術連絡会、バイオコミュニティ関西(BiocK)

4 共催 関西健康・医療創生会議

5 後援・協力

- 後援：関西経済連合会、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、
関西医薬品協会、CSA Japan(一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス)
- 協力：LINK-J(一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン)

6 開催日時 令和3年12月2日(木) 13時～16時

7 開催形式 Zoomウェビナーによるライブ配信

※Zoomが使用できない場合はご参加いただけませんのでご了承ください。

(対象者)

- デジタルヘルスビジネス、特にnon-SaMD(健康増進用アプリ)に興味のある企業関係者等
- グローバルスタートアップスの振興や国内外からの投資促進を図る企業、大学、自治体関係者等(200名程度を想定)

【申込方法】

登録は主催のBiocK事務局である(公財)都市活力研究所のホームページからお願いいたします。前日にアクセスリンクをメールでご案内いたします。

https://urban-ii.or.jp/events/detail.php?event_id=438

8 参加料 無料

9 内容 次頁プログラムのとおり

10 お問い合わせ先 NPO法人関西健康・医療学術連絡会 事務局 落合 正晴 (メール gaku-renrakukai@nifty.com)

プログラム

～オンラインシンポジウム「関西を新たなデジタルヘルスビジネス拠点へ」～

1 開会挨拶（主催者挨拶）（13:00-13:10）

- バイオコミュニティ関西 (BiocK) 副委員長 諸富 隆一 (阪急阪神不動産株式会社社長)
- NPO法人関西健康・医療学術連絡会理事長 橋本 信夫 (関西健康・医療創生会議副議長)

2 特別講演（13:15-14:15）

- 座長 バイオコミュニティ関西 (BiocK) 副委員長兼統括コーディネーター
坂田 恒昭 (大阪大学共創機構特任教授)
- 経済産業省ヘルスケア産業課長 稲邑拓馬 氏 (13:15-13:50)
「PHRの推進とnon-SaMDの振興に向けて」
- 株式会社asken執行役員 天辰 次郎氏 (13:50-14:15)
「non-SaMD・SaMD間の考え方の違い」

3 パネルディスカッション（14:20-15:50）

～non-SaMD(健康増進アプリ)を振興するには何が必要か～

- 座長・問題提起 京都大学大学院医学研究科医療情報学教授 黒田 知宏 氏
- パネラー
 - 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター長 中田 研 氏
 - 一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス 代表理事 笹原 英司 氏
 - 製薬デジタルヘルス研究会 (SDK) 榊 敏朗 氏
(田辺三菱製薬株式会社 デジタルトランスフォーメーション部 専門部長)
 - 株式会社MICIN DTx事業部 RAスペシャリスト 桐山 瑤子 氏
 - NTT西日本 イノベーション戦略室 事業開発担当シニアマネージャー
デジタルヘルスケアプロデューサー 戸田 伸一 氏

4 閉会挨拶（クロージング・リマークス）

- バイオコミュニティ関西 (BiocK) 副委員長 兼 統括コーディネーター
坂田 恒昭 (大阪大学共創機構特任教授)